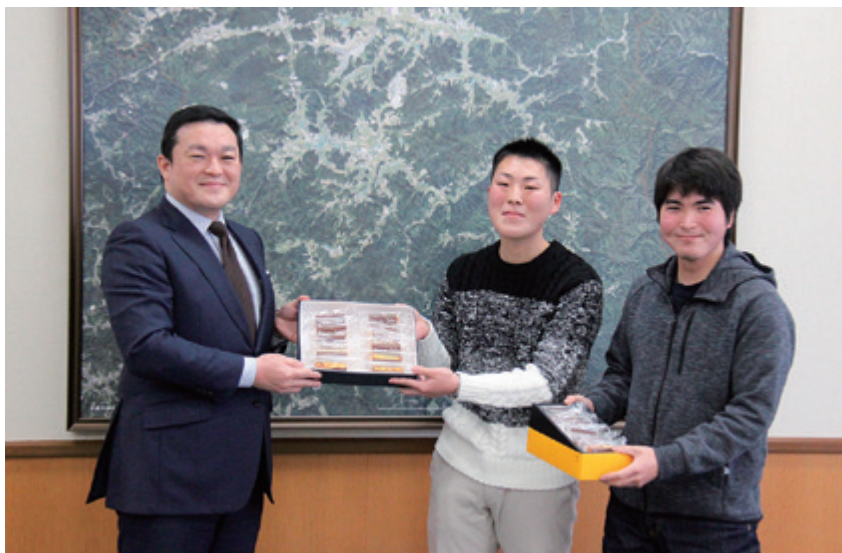


新成人の2人がふるさとへの思いを込めて ヤーコンのレシピと村おこしの提案を村長へ

2月10日、福島県農業短期大学校野菜経営学科2年の佐藤雅彦さん(関根・松塚)と高橋岳史さん(上飯樋)が役場を訪れ、佐藤さんはヤーコンを使ったレシピ、高橋さんはふるさとへの提案を、杉岡村長に披露しました。震災当時小学3年生だった若者は今年成人を迎え、飯舘村の活性化を目指して挑戦を続けます。



震災前、長泥地区を中心に生産されていた「ヤーコン」。食物繊維が豊富で腸内環境にもやさしく、シャキシャキとした食感が特徴的な野菜です。佐藤さんはヤーコンケーキ以外にも多くのレシピを開発中で、ヤーコンの消費を拡大するため改善に努めたいと話します。また高橋さんは、「農業に育まれた20年と故郷を興しなおす60年」と題して、景観づくりやPR方法など幅広い観点から意見を述べ、いずれは村でアスパラガスを栽培したいという強い思いを語りました。



レシピを紹介する佐藤さん(右)と高橋さん



佐藤さんの自信作「ヤーコンケーキ」



●9月に取材に伺ったご夫婦に、別の取材で再会。「この前はとうもろこし」と笑顔で声をかけていただきました。日常会話の何気ないひとことでしたが、覚えていてくださったことが本当に嬉しくて、広報に携わっているからこそ味わうことのできる、

人とのつながりを実感した瞬間でした。村の魅力を日々感じています。(菅野) ●福寿草が咲いていたと聞き勇んで出かけたのですが、数日前から真冬に逆戻りしていた村内：真っ白な雪景色の中に立ち尽くしたのでした…。(2日後の遭遇は歓喜でした！)(星)

Native Speakers 第11回

ネイティブ・スピーカーズ 飯舘言葉の達人たち



スマホのカメラをかざしてYouTubeで見てね

または検索で!

飯舘村 YouTube

